

教科	美術
----	----

目標	造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。
将来の生活に向けて授業で付けたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現する喜びと、ものの美しさを感じる豊かな情操</li> <li>表現に必要な造形材料・用具の知識及び技能</li> </ul>

### 学習評価

	観点	評価について
a: 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形的な視点について理解している。</li> <li>表現方法を創意工夫し、創造的に表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料・用具の扱い方</li> <li>作品の表現方法(技法)</li> </ul>
b: 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形的なよさや美しさ、表現の意図の工夫などについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイディアスケッチ</li> <li>授業での発表、発言</li> <li>鑑賞カード</li> </ul>
c: 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に取り組む姿勢</li> <li>授業での発表、発言</li> <li>提出物、準備物等</li> </ul>

### 関連する行事等

全学年: 文化祭(10月) 富山県高等学校文化祭(11月)
----------------------------------

### 使用教科書

つくる・見る・学ぶ 美術のきほん(日本文教出版)
--------------------------

学習内容 <美術科 1学年>

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4・5月	みぢか びじゅつ 身近な美術 ひょうじょう いろいろな表情 (1)	(思) まる りんかく なか か め はな くち 丸い輪郭の中に描く目、鼻、口のパーツの位置次第で、表情ががらりと変わることが分かる。 (思) えがお おこ かお な がお ひょうじょう か わ 笑顔、怒った顔、泣き顔などの表情を描き分ける。 (主) み まわ びじゅつ かんしん じぶん おも つ 身の回りにあふれる「美術」に関心をもち、自分の思い付く「美術」を意欲的に発表する。
		かいが 絵画 どうぶつ ・動物のスケッチ (4)	(知) ひょうじょう ちが さまざま どうぶつ しゃしん まい えら め 表情やポーズの違う様々な動物の写真から1枚を選び、目やくちの角度、顔の角度、皮膚の柔らかさ等に気を付けて鉛筆で描き上げる。 (知) かお かげ たいもう いろ ちが ひょうげん いろえんぴつ 顔の陰や体毛などの色の違いを表現するために、色鉛筆の濃淡や重ね塗りなどの工夫をする。
	6・7月	りったいひょうげん 立体表現 せいぶつ ・静物のデッサン しきさい 色彩 こんしよく ・混色 (1) (3)	(知) ちよくほうたい はこ あ ひかり かげ いろ ちが かげ おお 直方体の箱に当たる光と影の色の違いや影の大きさなどを捉え、2B鉛筆で濃淡をつけて描く。 (思) すいさい え ぐ つか こんしよく しきそうかん し あ 水彩絵の具を使って混色し、12色相環を仕上げる。 (主) いろ さんげんしよく あか き あお え ぐ ま いろ 色の三原色である赤、黄、青の絵の具を混ぜることで色が変化することに関心をもち。
後期	9・10月	こうげい 工芸 は こ ・張り子 (8)	(知) ま がった めん は しょうじがみ 曲がった面に貼りやすいよう、障子紙をちぎる。 (思) で き あ 出来上がりをイメージしたアイディアスケッチに沿って作品を仕上げる。 (主) なが しょうじがみ て ひ さ きながら わし そざい かん かみ 長い障子紙を手で引き裂きながら、和紙の素材を感じ、紙を扱うことへの興味や関心を高める。 (主) やく かくていど しょうじがみ あつ すきま き 約3～5cm角程度にちぎった障子紙を、厚みや隙間に気をつけながら紙粘土で作った土台に貼り重ね、丈夫な硬さの張り子に仕上げる。 (主) かみしつ い しゅるい そうしよく しかた す かた えら 紙質を生かした3種類の装飾の仕方から好きなやり方を選ぶ。



	月	単元名 (時数)	学習のめあて
後期	11月	鑑賞 ・友達 <sup>ともだち</sup> の作品 <sup>さくひん</sup> (1)	(思) 友達 <sup>ともだち</sup> の文化祭 <sup>ぶんかさい</sup> 展示 <sup>てんじ</sup> 作品 <sup>さくひん</sup> の中から、構図 <sup>こうず</sup> 、色 <sup>いろ</sup> 、アイデア <sup>アイデア</sup> などの観点 <sup>かんてん</sup> で、良い <sup>よ</sup> ところを見付け <sup>みつけ</sup> 、観賞 <sup>かんしょう</sup> カードにまとめる。
		版画 <sup>はんが</sup> ・名画 <sup>めいが</sup> の鑑賞 <sup>かんしょう</sup> (2)	(思) 世界 <sup>せかい</sup> の有名 <sup>ゆうめい</sup> な絵画 <sup>かいが</sup> について、制作者 <sup>せいさくしゃ</sup> や作品名 <sup>さくひんめい</sup> 、感じたこと <sup>かんが</sup> をまとめる。 (思) 気に入った <sup>きい</sup> 作品 <sup>さくひん</sup> を一点 <sup>いってん</sup> 選び <sup>えら</sup> び、その作品 <sup>さくひん</sup> の良さ <sup>よ</sup> について考え <sup>かんが</sup> をまとめ <sup>はっぴょう</sup> 、発表 <sup>はっぴょう</sup> する。
	12・1・2・3月	版画 <sup>はんが</sup> ・一版 <sup>いっばん</sup> 多色 <sup>たしよく</sup> 木版 <sup>もくはん</sup> 「名画 <sup>めいが</sup> の模写 <sup>もしや</sup> 」 (12)	(知) カーボン紙 <sup>し</sup> を使って <sup>つか</sup> 、トレーシングペーパー <sup>せん</sup> の線 <sup>せん</sup> を版木 <sup>はんぎ</sup> に転写 <sup>てんしゃ</sup> し、下絵 <sup>したえ</sup> を完成 <sup>かんせい</sup> する。 (思) 名画 <sup>めいが</sup> をよく見て版画 <sup>はんが</sup> に生かす線 <sup>せん</sup> を選び <sup>えら</sup> び、トレーシングペーパー <sup>ていねい</sup> に丁寧 <sup>うつつ</sup> に写し取る。
		(知) 版木 <sup>はんぎ</sup> を押さえる手 <sup>て</sup> の位置 <sup>いち</sup> や彫刻刀 <sup>ちようこくとう</sup> の持ち方 <sup>も</sup> など、安全 <sup>あんぜん</sup> な彫り方 <sup>ほりかた</sup> が分かる。 (知) 力加減 <sup>ちからかげん</sup> や向き <sup>む</sup> をコントロール <sup>ちようこくとう</sup> して、彫刻刀 <sup>ちようこくとう</sup> で丁寧 <sup>ていねい</sup> に線彫り <sup>せんぼ</sup> する。 (思) 画用紙 <sup>がようし</sup> にのりやすい絵 <sup>え</sup> の具 <sup>ぐ</sup> の柔らかさ <sup>やわらかさ</sup> を理解 <sup>りかい</sup> し、適度 <sup>てきど</sup> な水加減 <sup>みずかげん</sup> で、版木 <sup>はんぎ</sup> に適切な量 <sup>てきせつ</sup> の絵 <sup>りよう</sup> の具 <sup>え</sup> をのせて画用紙 <sup>がようし</sup> に刷 <sup>す</sup> る。 (主) 混色 <sup>こんしよく</sup> や重ね塗り <sup>かさぬ</sup> りなど、工夫 <sup>くふう</sup> して名画 <sup>めいが</sup> から受けた印象 <sup>う</sup> を表現 <sup>いんしょう</sup> しようとする。	

学習内容 <美術科 2学年>

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7月	かいが 絵画 ・身近な風景を遠近 ほう 法で描こう  (10)	(知)遠近法の基本的な技法を理解する。 (知)下書きした風景画に、色鉛筆や絵の具を使って着色し、光 や影などを表現する。 (思)写真をもとにし、近くのものとお くのもののとの距離感や見え方 の違いを捉えながら下書きを描く。 (主)人の表情や背景の奥行きを考え、絵の具の濃淡や混色を 工夫して着色する。 (主)風景画では、遠近法の技法を用いようと、距離感を意識しな がら、階段を描く。
	9 ・ 10月	こうげい 工芸 ・ボックスアート  (7)	(知)インターネットサイトや本を元にして、テーマを決める。 (思)自分で決めたテーマに合う表現を考え、設計図を作成する。 (主)自分で決めたテーマのイメージに合わせ、材料や色調、配 置を工夫しながら制作する。
後期	11月	かんしょう 鑑賞 ・日本画 ・洋画 ・彫刻  (2)	(知)国内外の有名な作品について、作者の生い立ちや時代背 景、技法などを知る。 (思)有名な絵画の中から一作品を選び、作品の良さや感じたこと をまとめ、発表する。
	12 ・ 1 ・ 2 ・ 3月	はんが 版画 ・思い出を単色木版 であらわ せて表そう  (12)	(知)平刀、三角刀、丸刀、切り出し刀の特徴を知り、彫る箇所に 合わせて使い分ける。 (知)彫刻刀の安全な使用方法を守って彫る。 (思)写真から必要な対象物を捉えて構図を決め、版画のため 下絵を描く。 (思)刷ったあとの白と黒のバランスや効果的な表現を考えな がら彫る箇所を決める。 (主)適切なインクの量やばれんの力加減を確認しながら、作品 を刷りあげる。

学習内容

<美術科 3学年>

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4・5月	デザイン ・絵文字をデザインしよう  (10)	(思)文字の意味から連想した形や色を絵に表し、文字と組み合わせる。絵文字のデザインスケッチをする。 (思)スケッチを基にし、これまで習った技法や画材、配色などを工夫しながら作品を仕上げる。
	6月	映像メディア表現 ・写真の表現  (6)	(知)写真を見比べながら、構図や明るさなど写真の撮影に必要な基本知識を知る。 (思)撮影するものを決めてデジタルカメラやタブレット端末で撮影し、効果的な表現方法を考えながら、撮影した写真を加工して作品を仕上げる。 (主)友達と共同し、遠近法を意識した写真撮影に取り組む。
	9・10月	デザイン ・色彩構成  (12)	(知)図形を用いた身の回りのデザインを知る。 (知)筆で丁寧に作品を仕上げることができる。 (思)丸、三角、四角などの簡単な図形を組み合わせて画面を構成する。 (思)自分で決めたテーマのイメージに合わせて、絵の具の濃淡や配色を工夫して表現する。
後期	11・12月	工芸 ・卒業制作 「メモリアルボックス」  (12)	(知)ニードルを安全に使用して、彫る。 (思)彫りたい絵柄を考え、アイデアスケッチする。 (思)作品の仕上がりをイメージしながら、アクリル絵の具や色紙を用いて色を付ける。 (主)スクラッチした絵の選択理由を発表する。
		絵画 ・友達の似顔絵を描こう  (8)	(思)友達の表情やポーズをよく観察しながら鉛筆で人物画を描く。
	1・2月	鑑賞 ・美術展の作品鑑賞  (2)	(主)美術展の作品や有名な作品を鑑賞し、作品の面白さや美しさを感じ取り、その内容について自由に発表する。
		大人のぬり絵  (4)	(知)色鉛筆で、濃淡や混色などの技法を理解する。 (思)配色を工夫しながら色を付ける。